資料２－１

溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板産業の現状

令和８年１１月２０日
関税・外国為替等審議会
関税分科会特殊関税部会
経　済　産　業　省

溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板の概要

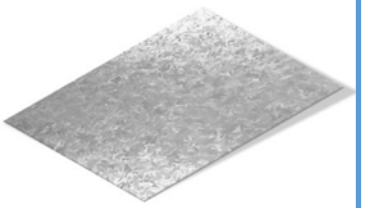
溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板とは

- 溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板とは、鉄等の薄板製品等の表面に高温で溶かした亜鉛をめっきした鋼帯及び鋼板である。
- 表面に溶融亜鉛めっきを施すことで優れた防錆機能を有することに特徴がある。
- 我が国で溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板を生産しているのは、日本製鉄（株）、日鉄鋼板（株）、（株）ヨドコウ、（株）神戸製鋼所を含む9者である。

【外観】



溶融亜鉛めっき鋼帯



溶融亜鉛めっき鋼板

溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板の主な用途

- 溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板は、主に耐食性及び加工性が求められる様々な用途で使用されている。
- 主な用途は、ガードレールや住宅、フェンス等の建材や冷蔵庫等の電気機器の部品を製造するための原料等である。

【用途例】



ガードレール



冷蔵庫

（写真提供：国内生産者提供資料及び国内生産者HP）

溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板産業の現状

溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板産業の現状

- 溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板の国外の主な生産国は、韓国・中国等。
- 溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板は、様々な用途で用いられる重要な基礎資材であり、国内の産業基盤を支えている。
- 国内の溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板産業は、自動車部品や電気機器産業といった国内の川下産業の需要に応えた高品質製品の生産を通じて、国際競争力の強化に寄与しているほか、耐食性の優れた建材を国内建築産業に供給することで、日本のインフラの強靭化に貢献している。
- 以上の産業の現状に照らせば、溶融亜鉛めっき鋼帯及び鋼板産業が国内から撤退した場合には、国内の産業基盤が揺らぐおそれがある。

※　中華人民共和国（香港地域及びマカオ地域を除く）を「中国」という。